

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 11 日

事務事業名		小学校施設維持管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020103000141
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系		政策体系上の位置付け						学校教育課	
総合計画の施策名		O201 学校教育の充実						課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	
施策名		O1 学校教育の充実						担当者名	
手段名		O3 ③教育環境の整備						企画・営繕グループ	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (平成17年度~)			
01 10 02 01 02 00		小学校管理事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		桜川市立学校設置条例、桜川市立学校管理規則、桜川市教育委員会事務局組織規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>小学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>小学校施設維持管理のため、修繕費、保守点検業務委託費、メンテナンス業務委託費、設計見積費、工事請負費等、借地賃借料</p> <p>※学校用務員報酬等を含む</p>	<p>小学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注</p> <p>借地面積 (大園小は国有地)</p> <p>羽黒小 2,036㎡、猿田小 7530.55㎡、坂戸小 322.61㎡、南飯田小 8,748㎡、樺穂小 6,879.86㎡、大園小 953.89㎡</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
小学校施設維持管理のため、借地賃借、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び工事発注	施設維持管理費	千円	124,741.00	124,741.00	124,741.00	124,741.00	124,741.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市立小学校	市立小学校数	校	8.00	8.00	8.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市立小学校の教育環境の改善、充実	教育環境の改善、充実された学校数	校	8.00	8.00	8.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	128,973	104,925	137,240		
		事業費計 (A)	千円	128,973	104,925	137,240		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	01 報酬	12,701		01 報酬	13,265	
	03 職員手当等	1,872		03 職員手当等	4,140	
	08 旅費	420		05 災害補償費	10	
	10 需用費	56,634		08 旅費	473	
	11 役務費	3,289		10 需用費	49,616	
	12 委託料	11,226		11 役務費	3,997	
	13 使用料及び賃借料	7,731		12 委託料	17,042	
	14 工事請負費	8,496		13 使用料及び賃借料	6,393	
17 備品購入費	2,556		14 工事請負費	26,000		
	合計	104,925		17 備品購入費	16,304	
				合計	137,240	

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。
-----------------	---	---	---

事務事業名	小学校施設維持管理事業	事務事業No.	20103000141	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
小学校建設時から。現状としては、校舎等の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多岐にわたり、増えている。 平成29年度で、真壁小・紫尾小が閉校し、桃山学園に統合された。 令和2年度で猿田小が閉校した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
老朽化の対応及び学校数の見直し。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 小学校施設を維持管理していくことは、安心安全な教育環境づくりの基本施策であるため結び付く。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市立小中学校施設であるため、市が行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 施設維持管理に関することから、施設が存続する限り継続するものであり、現時点で向上余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 施設環境が悪化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については、統合により小学校数を減らすには難しい。人件費については、施設に対する知識と経験が必要とされるため、委託等は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市立小学校施設である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	学校施設の維持管理は、市の業務であるため、施設の老朽化により、業務量が増加している。 今後、適正配置等が進まなければ、対象物件が減少することはないため、人員の適切な配置が必要である。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ⇨ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う ⇨ (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 □ 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 □ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる □ 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ④																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認